



竹井澹如 (1839-1912年)

天保10年(1839年)現在の群馬県甘楽郡南牧村羽沢の豪族市川家に生まれました。慶応元年(1865年)27歳のとき熊谷宿の本陣をつとめた竹井家の当主となり、明治12年(1879年)初代の県議会議長になりました。その後、政府の要職などをすすめられるものの、終始一貫熊谷地方のために貢献しました。



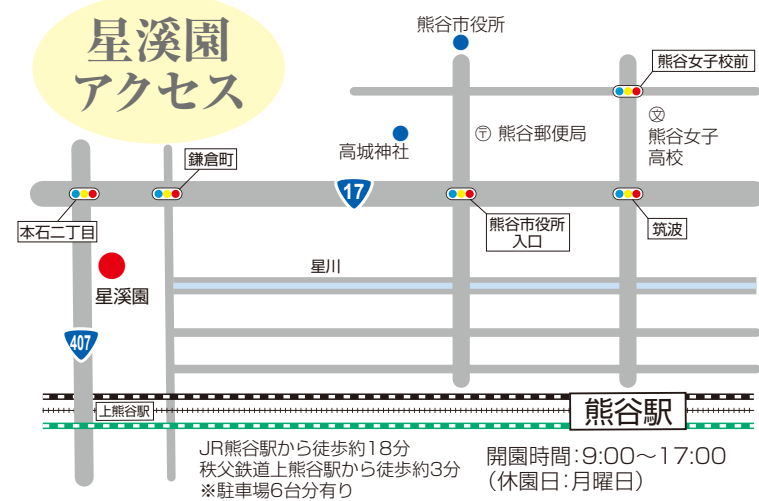
元和9年(1623年)、荒川の洪水により当園の西方にあった土手(北条堤)が切れて池が生じ、その池には清らかな水が湧き出るので「玉の池」と呼ばれ、この湧き水が星川の源となりました。後に澹如翁がその場所に別邸を設け、「玉の池」を中心に木竹を植え、名石を集めて庭園としました。昭和25年、熊谷市が譲り受け、昭和29年市の名勝として指定されました。

星溪園の由来



松風庵

二室からなる庵室で、星溪寮と積翠閣との中央に位置し、渡り廊下でつながっていましたが、現在、独立した建物になっています。前庭は、静かなこの庵の落ち着いた柔らかい数寄屋の建物のたたずまいをかもし出しています。



星溪寮

庭園内にある三棟の建物の中で、中心的建物であり、十二畳半の一の間を中心に、二の間・前室・茶室・立礼席等があります。一の間の前には、月見台があり、前室の後には坪庭があって、より庭園美との調和が図られ、日本の木造建築の美しさと格調の高さを感じられます。



積翠閣

高床式の建物で、和室と洋室からなり、月見台もあり、庭園の眺望が一段と高められ、静かな情緒を味わえます。玄関に入ると星溪園・澹如翁の資料も展示されています。

星溪園は回遊式庭園で、熊谷市の産業・土木面に大きな功績を残した竹井澹如翁によって慶応年間から明治初年にかけて造られました。回遊式庭園とは江戸時代からの庭園の様式で、池の周囲に通路を巡らし、園内を回遊しながら観賞できるように造られています。園内には、星溪寮、松風庵、積翠閣の3つの建物があり、お茶会などの日本の文化体験の場として利用できます。

◆ 江南文化財センター
048-536-5062

クールシェアスポットにもなってるにゃ!



まちなかの安らぎオアシス
— 星溪園 —

庭園

庭園には、植物が百数十種類植えられ、庭石は四十数個置かれ、石造美術品は燈籠・層塔など二十数個あります。



フォトニュース



古希軟式野球大会、優勝報告

70歳以上で組まれたチームによるトーナメント戦「第15回東日本選抜古希軟式野球大会」に出場した妻沼甲友クラブのメンバーが市長を表敬訪問し、熱戦の様子と優勝の報告をしました。



茅の輪をヨイショ!

6月30日、高城神社にて胎内くぐりが行なわれました。参道の一の鳥居に約4メートルの大きな茅の輪が掛けられ、大人から子どもまで多くの方が参拝に訪れました。



初夏の夜にホタルが舞い光る

6月14日に江南総合文化会館ピア駐車場で「第6回こうなんホタル祭り」が、6月21日に別府沼公園で「第16回ホタル祭り」が開催されました。熊谷の夜に浮かぶ幻想的な光は来場者を魅了していました。



白物家電世界No1のシェアを誇る企業が熊谷に

7月8日、ハイアール アジア インターナショナル(株)社長の伊藤嘉明氏が市長を表敬訪問し、その後、平戸地内に今冬完成予定の社屋を視察しました。当施設で研究・開発される家電製品が世界で販売される予定です。



小学生将棋王将戦、阿南君が制す!

6月8日、第13回小学生倉敷王将戦県大会が行われ、A級小学年の部で、熊谷西小6年の阿南智之君が初優勝を飾りました。8月に岡山県倉敷市で行われる全国大会に向け、市長に意気込みを語ってくれました。



親子みんなでハイ!チーズ!

7月2日、熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」親子ふれあいルーム内で地域子育て支援拠点「くまっ広場第2」の開所式が行われました。



見事な箸づかい

6月15日、熊谷市国際交流協会による日本文化体験の日が緑化センターで開催されました。浴衣に着替えた参加者達は、折り紙や福笑い、けん玉など日本の伝統的な遊びや、お箸を使った遊びを楽しみました。



世界一の選手を目指す!

6月26日、本市出身のプロサッカー選手である原口元気選手が「ヘルタ・ベルリン」(ドイツ)に移籍するにあたり市長を表敬訪問し、熱い思いと決意を語ってくれました。



第1回全国高校7人制ラグビー埼玉県大会

7月に長野県管平高原で行なわれる全国大会出場を向け、6月21日・22日に県営熊谷ラグビー場で、第1回全国高校7人制ラグビーの埼玉県大会が開催され、深谷高校が優勝しました。



プロ野球独立リーグ・BCリーグ プレシーズンマッチ

7月2日、熊谷さくら運動公園野球場で、熊谷市を拠点とする武蔵ヒートベアーズの来シーズンからの参戦を記念し、信濃グランセローズと石川ミリオンスターズが対戦し、多くのファンが楽しみました。



50年ぶりに秘仏公開!

6月21日、下川上で愛染明王が50年ぶりに一般公開されました。現在、本堂の愛染堂が一部損壊のため隣の集会所に安置されていますが、今後、本堂修復の機運が高まることが期待されます。

おたよりパレット

テーマ
今年の夏の予定

登山に旅行にダイエットなど、皆さんすでに計画をしっかり立てているようです。熱中症に注意しながら、思い出に残る楽しい夏をお過ごし下さい。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ6月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 世界遺産になった富士山登山にチャレンジしてきます。今年の夏に体力をつけて、健康増進に努めます。(40代・男性)
- 朝の涼しい時間帯は、新しいパソコンの操作に習熟するための時間として頑張りたいと考えています。(70代・男性)
- 今年の夏こそ、メタボ脱出を計画しています。体重を今より5キロ減らす為、20時～21時まで1時間ランニングを毎日やる予定です。(50代・男性)
- 今年は娘の結婚式があるため、親子で東京ディズニーランドに1泊2日の旅行をする予定です。いい記念になればと思っています。(60代・女性)
- 今年の3月に熊谷に転入したばかりなので、まずは熊谷の夏の暑さがどんなものか、体に慣れさせることが今年の夏の目標です。(60代・女性)

今月のテーマ、「私の好きな市内のイベント」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「私の好きな市内のイベント」のコメント(理由)を必ず記入し、8月22日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

6月号の正解

①環境 ②65 ◆応募総数66通中、正解65通


今月の問題

次の☐に入ることばを、それぞれお答えください。
①第65回 熊谷花火大会の花火打上総数は約☐発の予定です。
②熊谷えびす祭におけるダンシングイベントの名前は「第13回☐」です。

今月のプレゼント

タイ料理 春夏冬ご提供の、雪くま(ココナッツ レモン&タピオカ)を、正解者の中から抽選で10人に提供します。
所在地: 埼玉県熊谷市宮町2-7
電話: 090-6196-8076

読んで当てよう
市報クイズ



夢追人

「絵を描くことが大好き」

イラストレーター

宮本 ポチ子さん(美土里町)

※ペンネーム



漫画家に憧れ

小さい頃から絵を描くのが大好きで、毎日のようにお絵かきしてました。漫画が大好きでしたから、もちろん将来の夢は漫画家で、高校生の頃には、真剣に漫画家を目指していました。でも、現実はそのなかに甘くありませんから、著作権関係の仕事ができればと思いい。大学は法学部に行きました。大学生のとき、周りの面白い友人たちを日記のように綴った漫画が、ヤングガンガンという漫画雑誌の月

例賞で奨励賞と審査員特別賞を受賞したのがきっかけで、再び漫画家への思いが強くなりました。でも、すぐに雑誌の連載を受けられるほど甘い世界ではありません。

イラストレーターとして出発

一度は就職活動をしました。が、面接で「君は他に何かやりたいことがあるだろうか」と言われてしまいました。「やっぱり私は絵を描きたい。」と思い、自分のスキルを生かせるイラストレーターを目指しました。日本イラストレーター協会から認定を受けることができ、これまで、埼玉新聞の「熊谷百年企業」という連載のイラストを担当したり、お酒のラベルのイラストなどのお仕事をさせていただきました。

イラストは手書きとかわれがちですが、全てパソコンで描いています。練習や作業で拘束される時間も多のですが、なにしろ絵を描くことが楽しいので、辛いと思うことはありません。ただ、依頼された方の希望に沿える提案ができるか、



宮本さんが描いたイラスト



イラストと漫画を描き続けたい

いつか海外へも挑戦してみたいです。日本にはない文化を吸収してイラストに生かせればと思います。そして、自分の描いたイラストがいろいろな所で見られるようになったらいいですね。街中が私のイラストで染まったら最高です。

その一方で、漫画家になる夢も続いています。昨年、以前受賞した雑誌の一般部門奨励賞を受賞することができました。次は、新人漫画賞を目指しています。これからも、大好きなイラストと漫画両方を描き続けていきたいです。

来て!見て!知って!文化財

能護寺の十六羅漢

—羅漢図に込めた尊敬と革新— 永井太田1141

妻沼の「あじさい寺」として親しまれている永井太田地区の能護寺は、天平15年(743年)に行基上人が開山し、後に弘法大師空海が再建されたと伝えられています。

現在の本堂は文化11年(1814年)に再建され、内陣に大日如来、外陣に阿弥陀如来が安置されています。堂内に入ると、迫力ある天井画が迎えてくれます。この一格(縦129cm・横120cm)の木板16枚で構成される一連の絵が、熊谷市指定有形文化財「十六羅漢」です。

本図の作者である金井烏洲、寛政8年(1796)に上野国佐位郡島村(現在の群馬県伊勢崎市)に生まれ、谷文晁に師事し、江戸を中心に活躍しました。本作は円熟期を迎えた安政2年(1855)に描かれた作品です。

十六羅漢とは、釈迦の死後、その仏法を現世にて守り、

衆生を救済するために各地での布教に努めた16人の高弟のことを指します。羅漢とは阿羅漢(梵名のアルハン)の略で、「尊敬を受ける人」を意味しています。羅漢図は、10世紀に我が国へ羅漢信仰が伝来した後に多く描かれるようになり、平安時代の大和絵に含まれる羅漢図を始め、水墨による幻想的な構図を主題とした「禅月様」や、彩色を施した温雅な風情のある「李龍眠様」など画風の代表絵師の名を付けた様式に分類されます。烏洲はこれらの様式を参照しながら、画面全体に広がる強い筆致と緻密な構図力によって十六羅漢を描き、堂内を飾る名作を残したのです。



◆江南文化財センター ☎048-536-5062

人口と世帯

平成26年7月1日現在(対前月比)

■人口 202,547人(+13) 男 101,351人(-11) 女 101,196人(+24) ■世帯 84,041(+95)

「市報くまがや」8月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。